

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成21年11月13日

【四半期会計期間】 第7期第2四半期  
(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

【会社名】 カルナバイオサイエンス株式会社

【英訳名】 Carna Biosciences, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 吉野公一郎

【本店の所在の場所】 神戸市中央区港島南町一丁目5番5号

【電話番号】 078-302-7039 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理本部長 相川法男

【最寄りの連絡場所】 神戸市中央区港島南町一丁目5番5号

【電話番号】 078-302-7039 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理本部長 相川法男

【縦覧に供する場所】 株式会社ジャスダック証券取引所  
(東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年8月13日に提出いたしました第7期第2四半期（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）の四半期報告書につきまして、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年7月8日 内閣府令第41号）に照らし、追加すべき記載事項があるものと改めて判断いたしましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第2 事業の状況

##### 2 事業等のリスク

##### 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第2 【事業の状況】

#### 2 【事業等のリスク】

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

(訂正後)

(1)当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

(2)提出会社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象  
または状況その他提出会社の経営に重要な影響を及ぼす事象(重要事象等)

当社グループは、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。

また、当事業年度の事業計画においても営業損失を見込んでおります。

なお、文中の将来に関する事項は、第2四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

#### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

##### (5)研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費の総額は85百万円であります。

(注)平成20年12月期第2四半期は、連結財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期の数値との比較は行っておりません。

(訂正後)

##### (5)研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費の総額は85百万円であります。

(6)事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策

当社グループは、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。この事象は、「提出会社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況その他提出会社の経営に重要な影響を及ぼす事象(以下、「重要事象

等)」に該当します。当社グループは、キナーゼ阻害薬を創製するための基盤となる技術「創薬基盤技術」を強化すべく、積極的な研究開発投資を行っていることから重要事象等が発生しておりますが、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,192百万円と、当社グループの事業規模において円滑に事業活動を継続していく上で十分かつ支障がない手元流動性を保有しております。前事業年度の有価証券報告書における「対処すべき課題」に記載の通り、当社グループは、創薬支援事業の売上を更に伸ばすことで当該事業の利益の上積みを図るとともに、創薬事業においては研究開発をさらに進め、新薬候補化合物を製薬企業に導出することで当該事業の業績改善を図り、更に研究の効率化や諸経費の抑制等の経費節減に努めることで、早期の全社業績の黒字化を達成し、重要事象等を解消できるものと考えております。

(注)平成20年12月期第2四半期は、連結財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期の数値との比較は行っておりません。